

授業科目名	ソーシャルワーク演習	単位数	2単位
担当教員名	堀越由紀子・矢原絵里・平雅夫・砂田淳一郎・新明綾乃	担当形態	複数
実務内容 (実務家教員の場合)	社会福祉士として福祉現場の経験がある教員が、実践的視点からソーシャルワークについて指導する。		
「学位授与の方針」との関係			
DP2.共生社会創造のために、教育、福祉、環境、国際関係、スポーツ身体表現、等の専門的知見を得ることができる(専門知) DP4.個人や社会にとって必要な課題の解決のため、自律的な課題探究能力を身につけ実践することができる(実践力)			
授業のテーマ及び到達目標			
社会福祉士が働く分野は多様であるが、人間の尊厳の尊重と社会的公正の希求という価値と原理、それに基づく専門知識や専門スキルを駆使して行われる実践はソーシャルワークとしての普遍性をもっている。そこで、本科目では、以下を到達目標とする。 ①ソーシャルワークの知識と技術に係る他の科目内容を踏まえ、社会福祉士に求められる専門力量を理解する。 ②ソーシャルワークの価値規範と専門職倫理を実践的に理解する。 ③ソーシャルワーク実践に必要な関係形成スキルや協働スキルを実践的に理解する。 ④ソーシャルワーク実践の展開過程において用いられる知識とスキル、その統合について実践的に理解する。			
授業の概要			
社会福祉士に必要なソーシャルワークのスキル等について演習形式の授業を通して学修し、ソーシャルワーカーとしての力量を形成していく。			
授業計画			
第1回:ソーシャルワークの体系について 第2回:ソーシャルワークにおける自己の活用 第3回:他者との関係形成の技法(1) 第4回:他者との関係形成の技法(2) 第5回:基本的な面接技術(1) 第6回:基本的な面接技術(2) 第7回:グループワーク技術(1) 第8回:グループワーク技術(2) 第9回:ソーシャルワークの展開過程(1) 第10回:ソーシャルワークの展開過程(2) 第11回:ソーシャルワークの展開過程(3) 第12回:ソーシャルワークの展開過程(4) 第13回:ソーシャルワークの展開過程(5) 第14回:ソーシャルワークの記録 第15回:プレゼンテーション技術 科目修得試験			
スクーリングでの学修			
ソーシャルワーク専門職としての倫理と価値に基づく実践を行うことを目指して、専門知識とスキルを体験的に学習する。事例は、多様な領域から選定し、ケースの発見からアフターケアまでの過程を念頭に考察する。			
テキスト			
なし			
参考書・参考資料等			
適宜紹介する			
学生に対する評価			
レポート評価(25%)、スクーリング評価(50%)、科目修得試験(25%)			